



桐生ロータリークラブ週報

2008年

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度 国際ロータリーのテーマ



ROTARY SHARES

R.I 会長 ウィルフレッド J. ウィルキンソン

善意というものがいいなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

バストガバナー 前原勝樹

会長 佐々木 裕 幹事 森 末廣

クラブ会報・広報委員会 園田 誠・吉田和夫・清沢元喜

6月23日号

第2657回例会

(6月16日(月) 第3例会)

- | | |
|--|--|
| 1. 点鐘 | (2) バッヂの贈呈 |
| 2. ロータリーソング齊唱 | (3) 歓迎の言葉 |
| 3. 来訪者紹介 | (4) 新会員挨拶 |
| 4. 退会挨拶 藤江聰吉君 | 6. 会長の時間 |
| 5. 新会員入会式
(株)横浜銀行 桐生支店 支店長 肥塚俊成君
トヨタドライビングスクール群馬 取締役営業部長 山崎克彦君
(1)推薦の言葉 日野昇君
館 盛治君 | 7. 幹事報告 |
| | 8. 委員会報告 |
| | 9. 卓話 「JCの活動と私の考え方」
桐生青年会議所 理事長 朝倉剛太郎 様 |
| | 10. 点鐘 |

ようこそビジター

〈卓話者〉 桐生青年会議所 理事長
朝倉剛太郎 様

退会挨拶



藤江聰吉君

特技：スキー



山崎克彦君
トヨタドライビングスクール
群馬 取締役営業部長
生年月日：昭和34年6月8日
(49才)

学歴：拓殖大学附属第一高校卒業
家族構成：妻・長女

趣味：野球・バーレーボール・ゴルフ

新会員入会式



肥塚俊成君
(株)横浜銀行桐生支店 支店長
生年月日：昭和39年8月22日
(43才)
学歴：早稲田大学商学部卒業
家族構成：妻・長女
趣味：安くでおいしいものを探すこと・映画鑑賞・ゴルフ

会長の時間

今日は佐々木会長が用事があり、変わりにご報告させていただきます。

この所梅雨の合間で暑い日が続いてますがどうやら今までのようです。

この一週間いろいろな事がありました。秋葉原の

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM
ホームページ <http://www.kiryu-rc.org> メール info@kiryu-rc.org

不可解な大量殺人事件、そして14日には、あまり予想されてなかった岩手・宮城内陸地震。そう言う中でイランで誘拐されていた中村さんが無事保護されたのはうれしい知らせかもしれません。また宇宙飛行士星出さんの帰還も夢があり、うれしいニュースだったと思います。

桐生ロータリークラブでも、年度末(?)と言うことで幾つかの会が開かれました。9日(月)の夜、次年度に向けての家庭集会3回目が行われすべての家庭集会が終わりまして新しい年度に向けて準備が整ってきたようです。11日(水)には家族会の役員の引継が行われ、夜は5RCの会長幹事の引継も行われましたが、次年度会長としては不安が一杯です。

また今日は2人の新入会員が加わることになりました。残念ながら藤江聰吉さんが今月一杯でお辞めになることになり、残念ですがこれからも御活躍、又御指導よろしくお願ひします。卓話には桐生青年会議所の理事長朝倉剛太郎さんにはお忙しいところよろしくお願ひします。

幹事報告

- 「ミャンマー災害」、「中国・四川省地震災害」被災者救援義捐金が、32,000円集まりました。ご協力ありがとうございました。
- 日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
- 桐生南、桐生中央、足利の各RCより週報到着。
- 次週6月23日(月)の例会は、最終例会です。午後6時30分点鐘ですので、お間違いのないようお気を付け下さい。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成20年6月16日)：総員71名・出席46名
平成20年5月26日例会修正出席率：80.0%

ニコニコボックス

阿部高久君・牛脇 章君・川島康雄君・岸田信克君・松島宏明君・野間義弘君・本田雄一郎君・坂入 勝君・須永博之君・竹内靖博君・山上達也君・月門快憲君…桐生青年会議所朝倉理事長を卓話者にお迎えして／水越稔幸君…剛太郎君卓話ガンバレ!!／日野 昇君…肥塚さんの入会を記念して／館 盛治君…山崎克彦君を推薦致しましたので／藤江聰吉君…退会記念品をいただきました／日野 昇君…結婚祝／藤井征夫君…地震、戒めるべきは、自分の身には何も起きないと思うことである。／月門快憲君…ネパールに「観音院文庫」ができます／日野 昇君…写真いただきました。

会員増強委員会より推薦者7名へ感謝状

竹内 康雄君 阿部 高久君 八木橋祥介君
坪井 良廣君 館 盛治君 日野 昇君
小島 弘一君



卓話



「JCの活動と私の考え方」

桐生青年会議所 理事長
朝倉剛太郎 様

こんにちは。ご紹介いただきました、本年度(社)桐生青年会議所理事長を務めさせていただいております、朝倉剛太郎です。本日たくさんの皆様の前で、若輩者の私が「卓話」をするように、と竹内委員長様から伺った時、正直、何をどのようにお話をさせていただいたらよいのか?非常に悩みました。

特に、多くの、偉大な青年会議所の先輩を前に、お話をさせていただくことに対して、いささか緊張をしている次第です。

しかしながら、本日は勇気を持って、(社)桐生青年会議所の代表として、「JCの活動と私の考え方」について精一杯お話をさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

〈桐生青年会議所=JCとの出会い〉

私の父…朝倉泰も青年会議所に入会しており、物心ついたころから、夕方、帰宅してから、「お父さん遊ぼう!!」という私を振り払うように、夜な夜ないそいそと「JCだ!」と出かけていく父を見て、「JCって何?」って母に聞いたことが最初でしょうか?

母の答えは覚えていませんが…JC無ければ良いのに…と思っていた自分…

小学校の時の「僕のお父さん」の作文…

→僕のお父さんの仕事は、朝倉染布という会社と、JCで一生懸命働いています。家には殆どいません…

桐生川の川掃除に連れて行ってもらった思い出…泥だらけになってゴミ集めをした結果、お誘いが無くなったり…

夏休み…冬休み…家族会というパーティーに連れて行ってもらい、サンブンやきのこ会館、この桐生俱楽部などでヨーヨー一つりやゲームをさせてもらったり、終わった後、稲村先輩や岸田先輩の自宅で遊んだ思い出…たまにはいいことするじゃん!

タバコ臭いサンブンのJCルームに大きな鍋があって、アフガニスタン難民への義捐金とする趣旨に感激して、お小遣いを投げ入れた思い出…

〈青年会議所＝JCへの第2の出会い〉

18歳で進学の為上京し、就職、31歳の時に13年ぶりに桐生に戻る。

入社早々「父＝社長の命令」…JCに入りなさい。友達を作りなさい。人との付き合い方を勉強しなさい。これは社長命令である！

早速会員拡大特別委員長：坪野弘幸先輩を社長室へ…通り一遍の説明を受け、後は、入会申込書の書き方の説明…

まあ、いいか！地元で孤独になるよりは…と自分を納得させて入会。

父の苦言…JCはやればやるほど役職を与えるから、会社潰さないように！自分で考えて頑張りなさい…意味不明であった。

〈入会後の自分〉

・非常に理屈っぽい団体…でも筋通っている部分もある。

→例えばJC三信条(奉仕・修練・友情)、先輩を立てる、感謝の気持ちを持つ、人の意見を聞く、議論を尽くす等等…最近かけている何かがあった。

⇒国会、投票率、サラリーマン社会、意見を言うことを避ける若者社会

おかしなこと…同じメンバーなのに、運転手までつくのは？常任って？そんなに偉そうに？まちづくり団体なのに、合併を論じない？市民の意見を聞かない？

JCへの姿勢…中に入つて見なければ分からない、出席してみよう…9年しかないのだし…知らないものは、批判も評価も出来ない。

我武者羅に出席してみた。同期の多くも、頑張っていた。時間作つてやってみようと思った。

〈今年度の方針〉

(1)真に必要とされ、頼られるJCとなろう

(2)力強いJAYCEEとしての資質向上を図ろう

(3)共に活動する仲間を増やそう

時代背景

・国、地方自治体としての財政状況の悪化…市民の政治離れ、行政主導のまちづくり

本来、隣組だと、個人で行つていたことまで、行政に頼る…雪下ろし、生涯学習、○○会館といった箱物、補助金、各種の特殊法人

都税事務所の例

シティホテルのような市町村会館の例

→財政破綻→平成の大合併…道州制

まちは誰のものか？市民自ら考え、行動して欲しい。しかし、市民はどうやって声を、意見を言つたらよいか分からぬのではないか？或いは不信感、あきらめはないか？

JCの役割

市民が主役のまちづくり動機付けをすること

市民団体として市民に「知つてもらう機会」「考えてもらう機会」をつくること

中性・公立の立場から…公益法人である「社団法人」だから出来ること、期待されていること

(1)真に必要とされ、頼られるJCとなろう

・マニフェスト検証大会

→選挙を4年で一度のイベントで終わらせない

約束であるマニフェストは守られているか？進捗度合いは？

…市民に行政への感心を持ってもらうことの重要性

・まちゆめ基金

→一寸した市民や市民団体の発想、まちづくりなどの活動を応援する

行政の補助金制度の活用を知らない、まだ、実績が無く申請書が書けない団体など

JCの持つネットワークの活用

JCメンバーの人的支援やアイデア

・市民や市民団体との協働

まずは、桐生商工会議所青年部、桐生みどりプロジェクトの各商工会青年部との懇談会

その他団体とも協働していくことの必要性

限られたJCメンバーだけでなく、それぞれの団体の得意分野とJCの方針がマッチすれば、一緒に協働することにより、効率性や影響力を發揮できるのでは？

・情報の氾濫と極度の個人主義の横行

権利と義務の関係を理解できない社会…自己中心的、言うけど言ひっぱなし。

日本人の持つていた美德、仁・義・礼・智・信の荒廃

ニート、自殺(年間30,000人超)

親としての義務の放棄、子としての義務からの逃亡…核家族化、個人主義、血で血を洗うような凄惨な事件の連続

・変化の激しい時代(トレンドの変化)…ファッション、マスコミ、経済、ネット、投機

・企業倫理、企業の社会的責任の強まり…その裏で暗躍する「偽」…偽装事件

日本人の魂(こころ)に注目した

魂(こころ)とは…日本人が本来心の奥底にもつてゐる美德…日本人らしさ

・こころを教育しよう

こころの動きの大切さ…こころの作用、心遣いの大切さ…良い心を持つ

講演会…モラロジー研究所 石本俊夫先生「豊かな社会の忘れ物」

イベント…ひろみちお兄さんのやさしさあふれるおとなとこどもの体操教室(NHKの体操のお兄さんであった、佐藤弘道氏による大人と子供の実践教室)

・企業の社会的責任を考える

講演会…呼び起せ商人道…平田雅彦(元 松下電器産業副社長)

石田梅岩に学ぶ、企業の社会的責任

企業倫理の大切さ、「偽」の社会だからこそ、必要とされる企業責任

(2)力強いJAYCEEとしての資質向上を図ろう

言うからには、必要とされる知識、行動力…会員の

資質の向上「平成の志士」を目指して…碧き理想に燃える平成の志士の育成
市民の先頭に立ってリーダーシップを發揮していくかなければならない…不撓不屈の精神力、行動力、そして自己研鑽により知識を積み上げる

激動の時代だからこそ、企業経営者やそのジュニアであるメンバーが自分自身で仕事も、JC運動も行つていかなければならない時代。
中々青年会議所活動に割く時間が取れない現実…時間を作ることを覚えてもらいたい。
青年会議所の活動と仕事、家庭の両立を図つもらいたい。
自身を持って活動してもらいたい。
ひ弱な自分の殻や壁を打ち破つてもらいたい…志士になってもらいたい。

活動する仲間を増やしていく
少子化、不況の現代、会員拡大は非常に難しい。
経営者の実務が増加している?
拡大をしていかないと、52年の歴史が危うい…120～130人体制から、100名を割る現実、そして、第2次ベビーブーム世代が続々と卒業し、50名の団体になつてしまふ危険性…活動をしたくても出来なくなる危険性
JCの魅力ある事業を紹介しながら、仲間集めをしていくことが必要。

〈JC運動の変化と対応〉

・経済成長の時代から、成熟社会への時代の変化
(青年会議所全体) 環境問題、憲法問題、国民主権への取り組み
公益法人制度改革への取り組み

(桐生青年会議所)

メンバー中心の団体から、市民中心の団体へ…公開例会の拡大

2005年経営創造委員長の時…経営は、メンバーの資質向上としての役割と定義づけ→公益法人である「社団法人」のJCが何故、市民対象に経営の講演会を開催出来ないのか?疑問を感じた。為になる講演であれば、桐生の企業経営者に参加してもらうことで、桐生のまちの活性化に繋がるはずなのに…中々理解してもらえなかつた。

同様に、余り一般市民対象の例会・事業が多くないので、(社)桐生青年会議所は折角素晴らしい方針と事業を行つても、社会的な認知は?本当に市民に必要とされる団体なのか?

過去の歴史を紐解けば、多くの事業は市民対象の事業を多く行つていた。

何か、小さく、固まっていないか?形骸化していいか?

公益法人改革の影響や、私と同じ疑問を持つメンバーの増加
〈公益法人改革〉

- ・社団法人などの「公益法人」は5年以内に一般社団か、特定公益法人か?選択を迫られる
- ・一般社団法人…申請だけで基本的に認証され、普通の任意団体と同様に団体のくくりとなる。保有する財産への課税の問題…繰越金や積立金への課税
- ・特定公益法人…公益性の高い法人のみ承認される。但し、会費収入など収入の過半を公益性のある事業費として使わなくてはならないなど、厳しいハードル。

青年会議所の設立の趣旨は、明るい豊かな社会の実現…JCは公益の為に活動する団体。今年は特に、例会を出来るだけ一般市民を対象とした公開例会化し、公益性を高めていくことを重視。

世間様にJCの意見、主張を発表し続けなくてはいけない為、より責任感もった対応、事業計画が必要…委員会、理事会の回数の増加、質の向上を図つていかなければならない…かなりの労力と時間を掛けてしまう結果となっている。

ここ暫く、内部中心の動きをしていた為、公開中心の動きへの戸惑い、軋轢、混乱もあるのは事実。しかし、各種の市民団体が増え、青年会議所の存在意義を考え直せば、我々は「青年会議所でしか出来ない事業」を追求していかなければ、社会から必要とされない団体となつてしまふのではないか?

こうした動きに対して、世間からは暖かい反応を頂いている。
→マスコミへの露出度の増加
→青年会議所の魅力、必要性が市民に理解されてきているのでは?
今後、現状の動きは益々加速していくのではないか?と考える。

謝 辞

昨日は「父の日」JCを含め、父親の思い出話しだ多分自分の子どもと同じ年代。父親に対する気持ちがわかつたような気がしました。

当クラブにはJCの先輩が多く話しづらかったと思いますが、JC活動を力強くすすめて桐生の活性化、若い力でよろしくお願いします。

本日は有難うございました。

お知らせ

【次回例会予告】6月30日(月)休会

7月7日(月)卓話

・「新年度を迎えて」 会長 武田 博之君
副会長 養田 隆君
幹事 松島 宏明君